

詐欺撃退の心得



□ いつでも留守電設定に

自宅にいるときでも常に留守電に設定し、知らない相手からの電話は無視しましょう。

□ ATM限度額を引き下げる

あらかじめ「ATM利用限度額」を引き下げておくことで、万が一特殊詐欺にあっても被害を最小限にできます。

□ 家族の番号をしっかりと登録

家族や親しい知人などの電話番号を電話帳に登録し、登録番号以外は着信拒否するなどして、知らない電話には出ないようにしましょう。

□ 新しい情報を収集する

犯人は次々に新しい手口を考えてきます。特殊詐欺だと気づけるよう、常に新しい情報を収集しておきましょう。

□ 電話帳の掲載を削除

被害者の多くは、電話帳に個人名が掲載されています。電話帳からの個人名削除が特殊詐欺の未然防止につながります。

□ 怪しい電話はすぐに相談

お金やキャッシュカードを要求する電話、身に覚えのない電話など不審な電話がかかってきたら、慌てずにいったん電話を切り、家族や警察に相談しましょう。

Interview

急増する特殊詐欺について、登米警察署生活安全課長に話を伺いました



登米警察署生活安全課 村上 雅典 課長

特殊詐欺と思ったら遠慮することなく相談してください

一市内の被害状況を教えてください
令和3年中の市内の特殊詐欺被害認知件数は6件、被害金額約700万円でした。市内では2年ぶりに被害が発生。最も多かった被害は、「預貯金詐欺」と「還付金詐欺」でした。今年に入ってからも県内における特殊詐欺被害は増加傾向で、予断を許さない状況です。
一どのような手口が横行していますか
「キャッシュカード詐欺盗」や「オレオレ詐欺」などの他、インターネット閲覧中に「パソコンがウィルスに感染しています」と偽の警告画面を表示した上で、連絡先に電話させ、その後サポート契約を装ってコンビニエンスストアなどで高額の電子マネーを購入させる「架空請求詐欺」も増加。また最近では、住宅メーカーを装い「介護施設に入居する権利がある」と電話し、入居権の譲渡を承諾すると「名義貸しは犯罪。逮捕されないためにお金を払ってもらおう」と言い現金をだまし取ろうとする詐欺も発生しています。
一不審な電話を受けた場合は
特殊詐欺は、自宅の固定電話にかかってくる特徴があります。電話の会話中に「お金・キャッシュカード・暗証番号・電子マネー」というキーワードが出たら詐欺の電話です。
不審な電話を受けたら詐欺と疑い、すぐに電話を切って慌てずに警察に相談してください。

特殊詐欺電話撃退装置 購入費の補助制度

特殊詐欺の被害に遭わないためには、犯人からの電話を直接受けられない環境をつくる固定電話対策が有効です。

宮城県警察では、特殊詐欺被害防止のため、固定電話機に接続する「特殊詐欺電話撃退装置等」を購入した人に、購入費用の一部を補助します。

【対象機器】電話機の呼び出し音が鳴る前に、電話の相手に「通話内容を録音します」などの警告メッセージを流す機能と通話内容を自動で録音する機能を有する「特殊詐欺電話撃退装置」または「迷惑電話防止機能付き電話機」
※1世帯につき1台まで、新品の機器に限ります
※令和4年4月1日以降に購入・設置したもの、これから購入するものが対象です

【補助対象者】県内在住で申請年度内において満65歳以上の人のいる世帯、自治体または警察から現に撃退装置の貸し出しを受けていない世帯、過去に本事業の補助金の交付を受けていない人など

ご利用ください 市の相談窓口・出前講座



消費生活相談員 佐藤 ふき子さん

◎ 悩まずに相談ください

市では、悪質商法、契約トラブルなどの相談や苦情に対し、専門の相談員が問題解決のための助言や情報提供をしています。

令和3年度は281件の消費生活に関する相談が寄せられました。相談の内容は、「身に覚えのない商品が届いた」「お試し、無料との広告を見て注文したところ、定期購入だった」「光回線からアナログ回線に戻す契約のはずがサポート契約になっていた」などさまざまです。

「おかしいな」「困ったな」と思ったら、一人で悩まずに気軽に相談ください。

◎ 知識を身につけましょう

市は、地域の集会などに出向き、消費生活に関する出前講座を行っています。

消費生活に関する出前講座 受講者の声

最近、しつこく物品購入の勧誘電話があり、自宅へも訪問され怖い思いをしました。講話を聞いて、知らない相手からの電話には出ない、怪しい相手にはうやむやな返事をせずにはっきり断るなど、日頃からの心構えが大切だと身に染みて感じました。



熊野 秀子さん(84) 迫町



登米警察署 オリジナルヒーロー 「トメルンダー」

特殊詐欺の相談窓口

▶ 登米警察署 ☎0220(52)2121

【受付時間】24時間(土日・祝日も実施)

▶ 佐沼警察署 ☎0220(22)2121

【受付時間】24時間(土日・祝日も実施)

【補助金額】機器購入費の2分の1の額(100円未満切り捨て)、上限額7千円 ※予算がなくなり次第終了となります

【申請受付】申請方法などは、宮城県警察ホームページなどでお知らせしています。詳しくは、最寄りの警察署に問い合わせください

【申請サポート】登米警察署、佐沼警察署では、購入から申請までの手続きをサポートします。購入前に相談ください

【申し込み・問い合わせ】
登米警察署生活安全課 ☎0220(52)2121
佐沼警察署生活安全課 ☎0220(22)2121



宮城県警察 ホームページ

被害に遭わないために、情報を活用しましょう メール配信サービスに登録を

■ 登米市メール配信サービス

市内で発生した災害や犯罪などの緊急情報をメール配信サービスでお知らせしています



防災、防犯、市の行事などを、登録されたメールアドレスに随時配信
登録用URL: <https://mail.cous.jp/tomecity/>

■ みやぎセキュリティメール

県内で発生した犯罪発生情報や犯罪被害に遭わないための「防犯情報」などをメールで配信しています



安全、街頭犯罪の発生・検挙情報、犯罪に関する情報などを、随時配信
登録用メールアドレス: t-miyagi@sg.m.jp